

平成16年度 安全工学ワークショップ

「子どもの安全・・・安全工学とのかかわりを考える」

主催：日本学術会議人間と工学連絡委員会安全工学専門委員会（第19期）

共催：土木学会安全問題研究委員会

（世話担当：日本学術会議人間と工学連絡委員会安全工学専門委員会安全教育小委員会）

子どもの生活安全が脅かされている、ということ、いろいろなところで耳にします。子どもたちの生活において、安全を確保し、健全な発達を促していくために、工学はどのように寄与できるのか。このワークショップでは、その取り掛かりをシンポジウム形式で、参加者の皆さまとともに探りたいと思っております。奮ってご参加ください。

【話題提供】

明治大学理工学部長	向殿政男	「六本木ヒルズ回転ドア事故」
株式会社コトブキ 開発企画室	一木 誠	「遊具の安全」
子どもの危険回避研究所 所長	横矢真理	「子どもの安全と安全教育」
早稲田大学理工学部教授	小松原明哲	「ユニバーサルデザインと子どもの安全」

日時 平成16年11月11日（木） 13：30～16：30

場所 早稲田大学理工学部（大久保キャンパス） 55号館S棟2階

東京都新宿区大久保3-4-1

<http://www.sci.waseda.ac.jp/campus-map/>

（駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください）

聴講無料・聴講自由

【問い合わせ先】 早稲田大学理工学部経営システム工学科教授

小松原明哲 komatsubara.ak@waseda.jp (03) 5286-3509

日本学術会議は、我が国の人文・社会科学、自然科学全分野の科学者の意見をまとめ、国内外に対して発信する日本の代表機関です。科学が文化国家の基礎であるという確信のもとに、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的として、昭和24年（1949年）1月に内閣総理大臣の所轄の下に「特別の機関」として設置され、中央省庁再編に伴い、総務省に置かれることとなりました。日本学術会議は、全国約73万人の科学者の代表として選出された210人の会員により組織されています。安全工学専門委員会は、日本学術会議の一委員会として、安全工学に係わる研究者の情報交換、討議の場として設置されているものです。その対外活動の一つとして、ときどきのテーマに関して、安全工学ワークショップをほぼ毎年、開催しております。